

檮

～けやき～

成田市立中台中学校 学校だより

文責：内田 淳

令和6年 4月8日（月）Vol.01

学校教育目標 『自ら学び、豊かな心を持ち、たくましく生きる生徒の育成』

「仲間も、自分も、大切にしよう」

「あきらめずに、取り組もう」



【ホームページへ】

ご入学、おめでとうございます

真新しい制服とともに、74名の新入生が入学してきました。令和6年度の中台中学校は、8学級、217名の生徒と、29名の教職員とでスタートします。新1年生の皆さんは、それぞれに希望や期待を抱いて、今日の日を迎えたことでしょうか。部活、学習、学校行事、新しい友達との出会い。これから始まる3年間は、可能性に満ちあふれています。平坦な道ばかりではないでしょうが、力強く前向きに、歩み続けてほしいものです。

保護者の皆様におかれましては、お子様の姿に目を細めていることでしょうか。中学校入学を機に抱く「こうなりたい・変わりたい」という思いを受け止め、支えていきたいと考えています。

本校での中学校生活が、実り多きものになることを、大いに期待しています。

本日の入学式では、私からの式辞として、次のようなことを話しました。

一つ目は、「仲間も、自分も、大切にする」ということです。

「仲間を大切にする」とは、

○思いやること。

○助け合うこと。

○相手の気持ちを想像すること……などが挙げられます。

「自分を大切にする」とは

○自分のよいところに気づき、それを伸ばすこと。

○スポーツ、読書、音楽、絵を描くなど、好きなことに取り組み、自分の心を豊かにすること。

○どんなときでも、自分を否定せず、頑張っている自分を、認めること。

……これらのようなことだと、私は考えます。

そして、二つ目は、「あきらめない」ということです。

これから始まる3年間には、様々な喜びに満ちあふれています。一方で、今まで経験したこともないような壁にぶつかるかもしれません。そんなときは、大きく深呼吸をして、何かできることはないか、と考えてみましょう。

みなさんには、自分でも気付かないような力や可能性があります。あきらめなければ、これから、何でもできます。

また、自分の力だけでなく、ぜひ、周りの人を頼ってください。校長室のドアも、いつでも開けて、みなさんがお話をしに来るのを待っています。

次に、昨年度の生徒の活動の様子的一部分を紹介します。今年度、「な・か・だ・い」の4文字に合わせて、「仲間も自分も大切にする」「感動と感謝の心を大切にする」「団結と協力を大切にする」「命を大切にする」という4つの柱を立てました。このテーマに沿って、今年度も様々な活動を行ってまいります。

な……仲間も自分も大切にする



【小集団でコミュニケーション。相手を理解しようとする気持ちがあれば、言葉がうまく出なくても、きっと伝わることでしょう。話すことも聞くことも大切】



【「好きこそものの上手なれ」ということわざのとおり、得意な分野に積極的に取り組めば、勉強そのものが好きになることでしょう。コツコツ、頑張ろう】

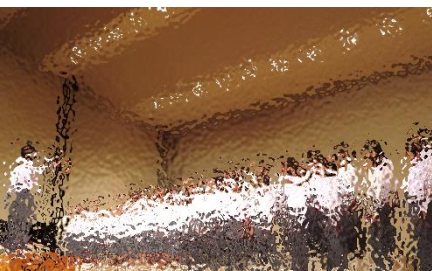


【ボランティアなども、仲間のため、地域のために活動することが、自分の心も豊かにします。活動を通して、自分や仲間のいいところが、次々に見つかるものです】

か……感動と感謝の心を大切に



【様々な「本物」に触れる旅行行事。歴史や自然に出会ったときの感動を大切にしたいです。仲間と一緒に体験した思い出は、心の支えになります】



【優勝を目指す合唱コンクールは、優勝できなくても「頑張った」という思いが、ずっと心に残るもの。全力で取り組んだからこそ得られる感動があります】



【日常の活動を通して、感謝の気持ちを大切にしたいものです。やがては生徒たちも、社会を支える大切な存在になるのです。今年も給食が楽しみです】

だ……団結と協力を大切に



【目標に向けて、チーム力を高める部活動。仲間と競い合ったり励まし合ったりするうちに、いつもより少しだけ頑張れたり、粘り強くできるようになるものです】



【息を合わせて力を合わせて、あとはタイミングを合わせて長縄を跳びます。こうして苦勞を飛び越えていくことで、学級の団結力はさらに高まります】

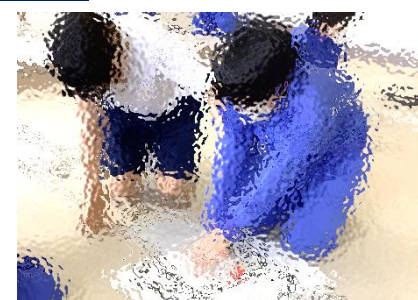


【授業の中でも班活動は多いです。調理実習のように、得意な生徒と、初めて体験する生徒と、いろいろいます。みんなで協力して、楽しく取り組みます】

い……命を大切に



【生徒総会では、各学級からの「いじめゼロ宣言」を発表。一人ひとりが違うのはあたりまえ。互いに尊重し、穏やかに明るい学校生活を築きましょう】



【保健の授業では、心肺蘇生法も学びました。「いざというとき」は来てほしくないけれど、それでも、「いざというとき」のために、真剣に学びます】



【助産師さんを招いて「命の授業」も行いました。実物大の赤ちゃん人形を抱っこした生徒は、命の重さを実感。自分の生まれた頃を想像した人も多かったです】